

日本選手権男子砲丸投げ

幸長(四国大)初優勝



幸長慎一

記事)

20人で争われ、幸長は前半3投を終えた時点でトップと24差の3位で後半へ。5投目にこの日最長となる17.77を投げてトップに立ち、2位と4差で頂点に立った。自身が持つ県記録(17.85)には届かなかった。

このほか女子走り幅跳び決勝では、鳴門市出身の山本渚(22)鹿屋体大が6.25で2位に入った。

(石津遼)

円盤でも上位狙う

幸長慎一の話 まさか優勝できるとは思わなかった。後半に入ってから自

陸上の日本選手権は1日、新潟市のデンカビッグスワンスタジアムで開幕し、男子砲丸投げ決勝で幸長慎一(23)四国大大学院が17.77を投げて初優勝した。同種目の徳島県勢の優勝は、昨年初優勝した美馬市出身の武田歴次(25)栃木県スポーツ協会に続き2年連続。(18面に関連

分のリズムで投げられるようになった。最終日(3日)の円盤投げでも上位入賞できるよう頑張りたい。

【紙面編集】山下直佑